

力・美的感覚なども養なわれていきます。絵を描こうとしている子どもたちがこの紙ちょっと大き過ぎると言ったり、描いている中にもう少し濃い色ないかしらなどと言ったりしますが、これは自分の描こうとするものと、材料との感覚のずれに気づいているからだと思えます。また絵を描いている時に「水がたれてしょうがない」と言っている子どもに対して他の子どもが「水を吸いとおしてしまえばいい」とか「絵の具に水が多すぎるのよ」などと言ったりしている。また粘土細工で作った人形が立たないのをみて頭が大きすぎるのに気づく子、足が細すぎるのを指摘する子どもいろいろありますが、それらは皆その批判力・調和の感覚が発達してくるからです。最後に典型的な創作活動の例として

- a. 粘土細工
- b. コラージュ・モンタージュ
- c. 版画
- d. 描画
- e. ままごと遊びの類
- f. 積木・組木から簡単な工作まで

#### g. 人形芝居

#### h. 針金の組み立て（モール細工など）

#### i. 衣裳つけ

などが挙げられています。

「コラージュ・モンタージュ」と言うのはどちらも、廃物を利用して自分の好きなものを表現することです。一枚の適当な大きさの板なり紙なりに、毛糸のくず、瓶のふた、紙や布の小切れ、テープの残り、ボタン、鳥の羽根などあらゆるものを芸術的に貼りつけていくのです。

「版画」も普通の木版・石版・銅版などに限られることなる瓶のふたを使ったり石を使ったり、子どもたちは結構いろいろとさがし出して来ます。

「衣裳つけ」にしても決して定まった衣裳を用意するのではなく、単なる布切れを子どもたちが自由に取り出せるようにしておいてあげれば、自分たちで好きなように頭からかぶったり腰にまきつけたりして遊びます。ただ色彩・数を豊富にとりそろえてあげられたら理想的です。（お茶の水女子大学 吉田三和子）

## 幼児の教育 第五十九巻 第一号

一月号 ◎ 定価 五十円

昭和三十四年十二月二十五日印刷  
昭和三十五年 一月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真

発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。